

緑の相談所だより

編集・発行

No.98

財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑の相談所

発行日 平成18年 2月 1日

講習会のご案内

果樹や花木の剪定

とき : 2月12日(日)
PM 1:30 ~ 3:30
講師 : 緑の相談所 相談員
佐藤 吉光
定員 : 50名

洋ランの管理

とき : 2月26日(日)
PM 1:30 ~ 3:30
講師 : 旭川蘭友会
笠原 幸三さん
定員 : 50名

花壇の デザインと花づくり

とき : 3月12日(日)
PM 1:30 ~ 3:30
講師 : 緑の相談所 相談員
伊藤 征夫
定員 : 50名

家庭園芸の準備 (草花と野菜の種類と作り方)

とき : 3月26日(日)
PM 1:30 ~ 3:30
講師 : 緑の相談所 相談員
芝山 一雄
定員 : 50名

お申込み・お問合せ・質問など

電話(0166)65-5553 旭川市緑の相談所まで、お気軽にお電話ください。

講習会の参加料は無料です。興味のある方はお早めにお申込み下さい。

詳しくは緑の相談所 職員までお尋ね下さい。なお定員になり次第募集は締め切らせていただきます。

プリムラ

サクラソウ科 サクラソウ属

プリムラ類の殆どは中国西部からチベット、ヒマラヤ、ヨーロッパにかけての北半球の温帯地方に分布し、日本にも20数種類が自生しています。



特 性

低状の多年草で、耐寒性が強く、根茎で越冬し、露地では早春から夏にかけて開花します。

また、多くの品種が好石灰植物でアルカリ性土壌を好みます。

花は冬から春にかけて咲き中国名で「報春花」といい、春咲く花を代表する人気の花です。最近では品種改良で種類も多くなり、この時期にカラフルな色彩でお店にたくさん出回ります。

置き場所と管理

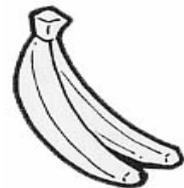
明るい日差しを好むので、よく陽の当たるところを選びましょう。冬は特に日光に当て、極端な低温や高温にならない場所で管理します。生育適温は昼間で15 ~ 20、夜間は10 前後と比較的涼しい場所です。水やりは開花中も必要ですが、基本は鉢土が乾いてから十分に水やりして、受け皿には水を溜めないことです。肥料は10日に1回くらい、1,000倍の液肥を与えます。

購入した開花株は3月頃まで楽しんでからひと回り大きな鉢に植え替えるか、または春になってから露地の花壇に植え込んで翌春の花壇(宿根草)として楽しむこともできます。

展示室の植物たち シリーズ「6」

サンジャクバナナ

バショウ科 バショウ属



【 昨年10月に開花し、おいしそうな実をたくさんつけています。 】

熱帯果樹の代表で、古くは熱帯住民の料理用や主食として用いられていましたが、20世紀初期頃から海上輸送が盛んになり欧米や日本に大量に輸出されるようになりました。また、原産地はマレー半島で、栽培の歴史はきわめて古く(紀元前 5000年以上前)とされており、その後コロンブスにより新大陸に伝わりました。たくさんの果樹の中でも生産量が世界一多いそうです。栽培品種のルーツは多種多様の交雑が存在するといわれています。また、特徴的にバナナの実は単為結果といって、受精せずに果実が肥大し、種子がありません。

熱帯では3ヶ月で成熟するといわれていますが、当温室では約半年くらいかかります。

収穫した後の株は枯れますが、根際から子株が芽を吹き3年後(当温室の場合)に実をつけます。

果実にはビタミンなどたくさんの栄養源が多く含まれており、最近注目の果物です。

春先のシャコバサボテンの管理

シャコバサボテンはクリスマスカクタスとも云われ、ちょうど12月、クリスマスの頃に咲く花です。育て方によっては1月でも花の付いているものもまれに見られます。

今回はこの花後の手入れについて少し述べたいと思います。

1 花が終わったら

花が終わったら花がらを摘み取り、室温5 ~ 10 程度の明るい所に置き、水を出来るだけ与えずに休眠させます。

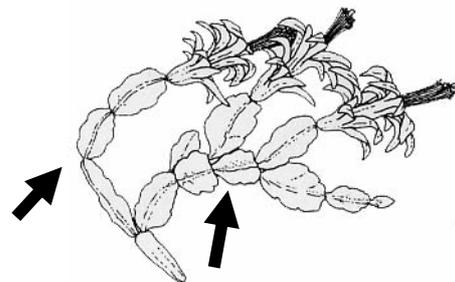
花が終わったまま、暖かい所に置くと休眠することはなく新芽を出し、花期に花を咲かせません。

2 休眠が覚めるとき

3 ~ 4月頃になると温度を10 以上に上げ、水を与え休眠から覚ませますが、その直前に昨年伸びた茎葉を1 ~ 2枚で葉摘をします



鉢全体のバランスを考慮して、図のカット線のような範囲で葉摘をする。



葉摘みの部位

- ・ 矢印より花側の範囲で摘む。
- ・ 昨年伸びた茎葉を残す。

このことによって新しい芽が分枝してその先端に花芽を付けるので、花をたくさん付けることになります。

3 植 替 え

一般の鉢物と同じように2年に1回植替えをします。植替え時期は、前頃の摘葉後に行います。用土は現在植えられている土と同じものが理想です。一般的には、小粒の赤玉土、ピートモス、珪酸塩白土を等量混合したものと云われています。また、鉢は毎年1節程度ずつ成長するのでひと回り大きなものを使うと良いでしょう。

4 挿し木について

2で述べたように昨年伸びた茎葉を摘み取りますがそれを使って挿し木をして新しい苗を作ることができます。

挿し木の仕方

2節付いた茎葉の切り口に発根剤をつけます。

茎葉を3本程度、1株にまとめて水ゴケで巻き、輪ゴムで留めます。

6cm程度のポットに入れて水ゴケを乾かさずに管理します。

2 ~ 3週間で発根するので3号ポットに植替えます。

2月の園芸作業

1 鉢花類

シクラメンのしおれたり傷んだ花茎、葉柄はこまめに摘み取りましょう。

アザレアは室内の明るい窓辺に置き、日中20、夜間7～8の低温で育てると、長く開花を楽しめます。また、開花中は水を多く必要としますので乾いたらたっぷりと与えましょう。

日照が強くなり、生長が目立ってきます。開花の続くプリムラ類、サイネリア、シクラメン、カルセオラリア等は、1000倍の液肥を週1回以上と固形肥料も月1回は与えましょう。

さし芽の時期でもありますので、伸び始めた新芽を長さ5～7cmに切り、さし穂を20分位水に浸し、水揚げ後、火山礫、パーミキュライト等で「さし芽」して若い苗を仕立てましょう。

2 観葉植物類

ゴールドクレストは葉枯れを起こしやすいため高温と乾燥した場所は避け、葉水もしましょう。

クワズイモは水をやり過ぎると根茎が腐る原因となりますので注意しましょう。

アンスリウムは高温多湿を好むので、明るいところに置き、葉水をまめに行いましょう。

3 洋ラン類

シンビジウムは花後すぐに新芽が出てきますがまだ置き肥はしないで、4月まで2000倍程度の液肥を月に2回程度与えましょう。

デンドロビウムは日の当たる場所に置き、蕾や開花中は水分を必要とするため乾かし過ぎないように、できるだけ温水をかけるようにしましょう。(表面が乾いて4～5日後が目安)

カトレア類は品種によって成長期が違いますので、株の成長をよく観察して、新芽が伸びるまでは水を控えめにし、肥料は与えません。

コチョウランは夜間18以上を確保できる室内においては2000倍程度の液肥を月2～3回与えましょう。

3月の園芸作業

1 鉢花類

休眠させていたアマリリスの植替え時期です。すでに花茎が伸びてきたら水やり回数を多くし1000倍程度の液肥を週1回与えましょう。

ゼラニウム、フクシャ、ペゴニア、コリウス等はさし木の適期ですので、パーミキュライト等の用土に葉を3～5枚程つけ2～3cmの深さに、さし木しましょう。

クジャクサボテンは花芽が出てきたら温度変化の少ない明るい窓辺に置き、高温による落蕾を防ぎましょう。

ポインセチアは日当たりの良い場所に置き、2000倍程度の液肥を月2～3回与えましょう。

アザレアは花後、5～8の低温の場所に置き、生長を抑えましょう。

2 観葉植物類

パキラ、ベンジャミナ等の剪定や植替えは春を待ってから行いましょう。

部屋が乾燥するためカイガラムシやハダニが発生します。早めに見つけ防除を怠らないようにしましょう。また、葉についたほこりを柔らかい布で葉のつけ根から先に向けて拭いてやりましょう。

3 洋ラン類

植替えのシーズンです。基本的には2年に1度が理想です。株によって活動がまちまちですから、目安は新芽が1～3cm位の時が良いでしょう。すでに、新芽が10cmも伸びている場合は新芽が完成するまで待ちましょう。

まずは、今月初旬から中旬にかけてシンビジウム属、デンドロビウム属(ノビル系)、カトレア秋咲き、パフィオペディウム属と順に植替え、4月下旬までに終れば良いでしょう。なお、コチョウラン等の高温タイプは4月中旬から6月までに植替えを行うのが良いでしょう。